

# 地震災害に備えて



## 沖縄でも大きな地震は起こります！

震災対策と聞いて、皆さんはどんなことを思い浮かべますか？ 水や食料の確保でしょうか？ もちろんそれも大切ですが、これらが必要になるのは無事に生き延びてからのこと。防災対策の第一段階は、地震が起きても生き延びる対策です。東日本大震災では津波によって多くの犠牲者が出ましたが、震災の多くは、家屋の倒壊や倒れた家具による死がほとんどです。まずは「自分の家では死なない」「大けがをしない」対策が必要です。

慌てず行動することが安全の第一歩。地震直後の津波情報にも耳を傾けてください。

### 1 落ち着いて身の安全を確保する

テーブルや机の下に身を隠すなどして、まずは自分の身を守ってください。



### 2 あわてず冷静に出火を防ぐ

使用中の火を素早く消しガスの元栓を閉める。もしも火が出たら隣近所に協力を呼びかけ、落ち着いて消火にあたりましょう。



### 3 窓や戸を開け出口を確保する

建物のゆがみで戸が開かなくなる事があるので、出口の確保は確実に行きましょう。



### 4 停電後の通電火災を防ぐ

避難で家を空ける時は、電気のプラグを全て抜いておき、通電した際の漏電や倒れた電気ストーブなどによる出火を予防しましょう。



### 5 慌てて外に飛び出さない

落下物や建物の倒壊など外には危険がいっぱいです。周囲の状況をよく確かめ落ち着いて行動しましょう。



### 6 避難は徒歩で持物は最小限に

非常用品はリュック等に入れて一つにまとめておき、避難するときにはエレベーターや自動車は使用しないようにしましょう。



### 7 狭い路地、塀ぎわ、川べりは要注意

狭い路地や塀ぎわでは、塀や自販機の倒壊、瓦の落下など危険が多いので遠ざかりましょう。川べりや崖は崩れる恐れがあるので近づかないようにしましょう。



### 8 山崩れ、崖崩れ、津波に注意

危険のある地域では早めに避難し、救助員の指示に従ってすみやかに行動しましょう。



### 9 正しい情報、正しい行動

うわさやデマに惑わされないように、ラジオやテレビなどで正しい情報を把握しましょう。



### 10 避難は早めに、協力しながら

お年寄りや体の不自由な人に声をかけ、ケガ人の手当てなど、みんなで助け合い早めに避難しましょう。



# 地震と揺れ等の状況

0【震度0】人は揺れを感じない



1【震度1】屋内で静かにしている人の中には揺れをわずかに感じる人がいる



2【震度2】屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じる



3【震度3】屋内にいるほとんどが、揺れを感じる



4【震度4】ほとんどの人が驚く。電燈などの吊り下げ物が大きく揺れる。まわりの置物が、倒れることがある



5弱【震度5弱】大半の人が恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある



5強



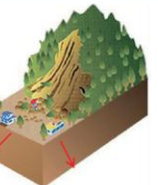
【震度5強】物につかまらなさと歩くことが難しい。棚にある食器類や本など落ちる物が多くなる。固定していない家具が倒れることがある。補強されていないブロック塀が崩れることがある。

6弱



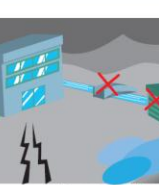
【震度6弱】立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。耐震性の低い木造建物は傾くものや、倒れる物が多くなる。耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。

6強



【震度6強】はわないと動くことが出来ない。飛ばされることもある。固定していない家具のほとんどが移動し倒れるものが多くなる。耐震性の低い木造建物は、傾くものや倒れる物が多くなる。

7



【震度7】耐震性の低い木造建物は傾くものや、倒れるものが増える。耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。耐震性の低い鉄筋コンクリート造りの建物では、倒れるものが増える。

資料（気象庁）

## 緊急地震速報 ～来る前に知る～

### 緊急地震速報とは？

気象庁から、地震の発生直後に、震源近くで地震（P波、初期微動）をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算、地震による強い揺れ（S波、主要動）が始まる数秒～数十秒前に素早くお知らせする新しい情報です。ただし、震源に近い場所では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。

### 緊急地震速報の受け方

震度5弱以上が推定される場合にテレビ、ラジオを通じて速報が受けられます。また、揺れの大きいエリアにいる携帯電話ユーザーに一方通報配信するサービスも予定されています。

### 緊急地震速報を受けたら

- 緊急地震速報を受けたら、周囲の状況に応じてあわてず、まず、身の安全を確保しましょう。
- 頭を守る  家具から離れる  塀から離れる  落ちてくる物に注意  あわてて外に飛び出さない
- エレベーターでは近くの階で降りる  運転中は急ブレーキをかけない

詳しくは、気象庁ホームページでご確認ください。（気象庁地震火山部管理課）